

情報に向き合う

富山県高等学校教育研究会情報部会長 藤 縄 太 郎

新しい学習指導要領の実施も3年目となり、普通教科「情報」もいよいよ完成年度となりました。情報をご担当いただいている先生方には、日頃よりご専門の教科の指導と共に新しい教科の指導法の確立に向け熱心にご研究をいただいておりますことに、改めて敬意を表すとともに感謝申し上げる次第であります。

今日の社会において、情報伝達の手段が持つ意味や影響には大変大きいものがあります。機器の発達や機能の充実により、瞬時に多方面に発信できる利点がある一方、人為的なミスがそのまま伝わり、大きなトラブルを引き起こしていることも事実であります。インターネットを介した顔の見えない人々とのやり取りや不特定の人から書き込みができるチャットなどによる事件や証券会社の株の誤発注による事故など、また、個人情報の持ち出しや漏洩・流出などマスコミに報じられないものを含めるとかなりの事故が繰り返して起きています。私たちの身の回りには取り扱うことができないくらいの膨大な量の情報が飛び交い、何を信じてどう行動すればいいのか戸惑うばかりになっております。ただ機器に習熟するだけに止まらず、情報を取り扱う際のモラルや倫理観など、しっかりと一人ひとりに定着させていかなければなりません。日頃より教科の指導に当たっては十分にご留意いただきご指導いただいているわけですが、今後とも一層のご指導をお願いいたします。

さて3年目にもなりますと、中学校での指導内容の充実につれ、年毎に当初に高等学校で予定していた指導内容について再検討する必要も出てきたのではないのでしょうか。中学校での指導の徹底に応じて情報活用の力量が高まり、早急に内容の検討を進められた学校もあったことと思います。まだまだ教科としてのスタイルが定まらない故の悩みではありますが、一方では新しい教科を自らの力で作っていく喜びもあると思います。これからは、このことに取り組まなければならないと思います。どうかこの点に関しても粘り強い取り組みをお願いしたいところであります。少子高齢化が進む中、これからの社会を担っていく貴重な人材である高校生たちが、社会の状況が大きく変化する中で、その変化に適切に対処し、社会をたくましく生きていくためにご尽力いただきますようお願いしております。

ところで、この情報部会の先生方にはそれぞれ専門の担当教科をお持ちであります。この情報部会の活動に参加していただく中で、他の教科をご担当の先生方との新たな交流も可能になってくるのではないのでしょうか。これまでのように単一の教科の中だけの交流とは異なり、他教科の情報を取り入れながら主担当の教科の指導にも十分に役立てていただけるのではないかと考えております。せっかくの交流の場を有意義な形でご利用いただければ幸いに思います。先生方のご尽力で船出することができました「高教研情報部会」ならではの、新しい取り組みの場になってくれることを期待しております。授業研究の場が、多くの教科の壁を越え教科の交流の場になると研修の意味合いも大きく変わってくると思います。この情報部会が本県の情報教育の中心として、また価値ある研修の機会や様々な情報を共有できる場として機能してくれることを願っております。是非、部会員の皆様お一人お一人が地道に実践され、情報を相互に交換できるコミュニティの一員としての意識を高めていただくことを願っています。

終わりになりますが、研究発表大会における研究発表などを快くお引き受けいただいた先生方並びに情報部会のお世話をいただいております富山県総合教育センター科学情報部の森田研究主事に感謝申し上げますとともに、今後の高教研情報部会の一層の発展を祈り、ご挨拶といたします。